

【開催案内】2019年度第5回「ヒトゲノム研究倫理を考える会」  
-ゲノム解析が向かう先-(2/2@東京)

皆様

(このメールは本プロジェクトが開催するイベント情報の  
メール配信を希望された方に BCC で送信しています)

拝啓 歳末の候、  
皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび2019年度第5回「ヒトゲノム研究倫理を考える会」  
を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

今年度は「考える会」を5回開催し、うち2回は例年同様に  
オンサイトの会場で実施する会、2回はウェビナー形式で  
開催する予定で、今回は東京会場での開催になります。

<開催案内>

=====

2019年度第5回「ヒトゲノム研究倫理を考える会」

- ゲノム解析が向かう先 -

<https://www.genomics-society.jp/news/event/post-20200202.php/>

◆概要

ゲノム解析を用いた研究に関する状況は、ここ数年でまた大きく  
変化を遂げつつあります。そこで今回は、「ゲノム解析が向かう先」  
をテーマに、ヒトゲノム研究倫理を考える会を開催いたします。  
注目されているトピックスについて国内外の最新の動向、またそれら  
が進む先はどこにあるのか、皆さんと一緒に考える機会になれば幸いです。  
是非ご参加ください。

◆日時：2020年2月2日（日）13:30-17:00

◆会場：秋葉原 UDX4F UDX ギャラリーネクスト「ネクスト1」  
東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 4 階  
<https://udx-akibaspace.jp/conference/>

◆プログラム：

13:30-13:35 開会の挨拶

加藤 和人 (大阪大学大学院医学系研究科)

13:35-13:50 ゲノム指針改正の現状紹介

山縣 然太朗 (山梨大学大学院総合研究部)

13:50-14:20 ゲノム情報・診療情報のデータ共有と

研究への利活用の国際的な動向

荻島 創一 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

14:40-15:10 遺伝統計学とヒトゲノム解析の最前線

岡田 随象 (大阪大学大学院医学系研究科)

15:10-15:40 遺伝医療・ゲノム医療の現場からー現状と課題

渡邊 淳 (金沢大学附属病院 遺伝診療部)

16:00-17:00 質疑応答・総合討論 (パネルディスカッション)

◆対象：大学・研究機関の倫理審査関係者、研究者など

◆定員：150名 (参加費：無料)

◆詳細・申込：

下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

<https://www.genomics-society.jp/news/event/post-20200202.php/>

[事前参加登録：1月31日(金)12:00まで]

◆主催：文部科学省科学研究費新学術領域「先進ゲノム支援」

ゲノム科学と社会ユニット (GS ユニット)

◆問合せ：大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学

Tel: 06-6879-3688

email: [workshop@eth.med.osaka-u.ac.jp](mailto:workshop@eth.med.osaka-u.ac.jp)

=====  
宜しく願い申し上げます。

GS ユニット事務局

--

先進ゲノム支援

ゲノム科学と社会ユニット (GS ユニット)

事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学分野

TEL 06-6879-3688

MAIL [workshop@eth.med.osaka-u.ac.jp](mailto:workshop@eth.med.osaka-u.ac.jp)